

あんてな

発行 事務局・広報部
2019. 12. 19

本紙が届く頃は銀世界？異常気象による山の幸激減の為、熊が住宅地を闊歩。近美の庭にも？と危惧。今号は皆様のご活躍やご苦勞の様子特集。ふむふむとお読み頂けたら幸甚。



美術館ボランティア 全道大会に参加して

売店部 奥芝恵美

売店部から5名で片道4時間の一泊旅行を楽しんできました。

釧路ボランティアSOAさんのウエルカムドリンクで迎えられ、手作りフェルトバッチ、記念品のボールペン、展覧会の入場券をいただき、学芸主幹の中村さんの講演会『ボランティア交流会のこれから』というテーマで各館との活発な意見交換がありました。

懇親会での釧路太鼓やゲームなど細やかなおもてなしがあり、準備に携われた方々は、大変なご苦勞があったと思います。

2年後はアルテピアが当番、札幌開催です。高齢化、ボランティアのなり手の減少という課題は、どこも同じ。これからの交流会の方向性を示す意味でも、先輩達が築いてきた形に拘らず、今の時代に合ったシンプルな交流会にしていける事が、アルテピアの役割ではないかと感じる旅になりました。



スペイン美術研修

「10月23日～11月1日」



事業部 浜下洋司

サグラダ・ファミリア教会の4Kテレビを見て、17年前の資材置き場の堂内を歩いた記憶から、目を見張るステンドグラスの輝く礼拝堂を見た時、行きたいと思っていた。

今回、参加者25名は、カタルーニア独立運動のストを避けながら、バルセロナのグエル公園を手始めに、建築家ガウディの“素晴らしい”芸術を見て廻った。

美術館は13ヶ所、教会・王宮・博物館・公園は7ヶ所。バルセロナ・テラッサ・フィゲラス・首都マドリード・古都トレドを訪問し、スペイン生まれのベラスケス「ラス・メニーナス（女官たち）」・エルグレコ「オルガス伯の埋葬」・ピカソ「ゲルニカ」等現地でしか見られない作品やゴヤ・ダリ・ミロの作品を鑑賞し本当に冥土の土産になった旅だった。

10月25日独裁政権のフランコ総統は夫人の眠る墓地に移り36年間の歴史を清算。帰国してラクビーW杯はベスト8。東京オリンピックのマラソン・競歩は札幌開催。忘れられない楽しい旅と重なった。



特別活動部 澤田和久

美術館に親しむイベントとして、年2回開催しているアートクラブが、11月2日に初めて1階ホールで開催されました。事前に会場スペースを計測して、長机・受付・材料置場などの配置を検討しました。1階は見通しが良く、照明の明るさも十分でした。苦労した点は、幅60cmの長机が重たく、四人掛かりで、台車を使って慎重に運びました。また壁面タペストリーは、部員が前に立ってガードするなど、注意を払いました。

今回は工作用のアイス棒を組み合わせた土台に、飾りをつける作品づくりで、大人52人子供43人計95人が参加されました。お客さまが、部員の試作品展示をよく見ているので試作品づくりも大切だと思いました。

「楽しみ」は、お客さまの笑顔と「楽しかった。」と言ってもらえることです。そして部員仲間と協力して無事に終わった達成感が次の活力となります。お客さまの作った素敵な作品をHPで、ご覧ください。

イキイキHASSIN



《私と詩吟》 解説部 小松陽子

その日、近美の常設展示室は静かで他にお客様はいらっしゃらないようでした。ボランティアですが、よろしければ解説いたしましょうか、と女性が声を掛けてくれました。解説を聞き乍ら、退職したらこういうボランティアも良いなー、と思ったのを鮮明に覚えています。ボランティアを始めると、新しい発見が色々あり、学ぶことが多くてとても刺激的でした。でも、期待される活動が難しくなったら、もういいよね、と言われる前に辞めると決めています。その日に備えて数年前から詩吟の稽古を始めました。必要なものは教本だけ。

大きな声で吟じるのは健康維持に大変良いようです。詩文の世界を想像し、吟詠を工夫するのは最高の脳トレです。人生100年時代。残りの人生を健やかに生きるため、貴方も一緒に如何ですか。



ボランティアと私

資料部 石井敦子

近美が開館して間もない頃に協力会会員となった私は、展覧会に頻繁に通い、国内外の研修旅行にも参加して、何人かのボランティアの方とお知り合いになった。組織ができたばかりの「自分たちが美術館を支える、盛り立てていくのだ」という熱い思いが伝わり、いつかは自分も近美のボランティアを、と思うようになっていた。が、しかし、口下手で人見知りでは解説部も売店部も無理、と思い込んでいた。

数年前、美術講座を受講して、ボランティアのオリエンテーションに参加し、美術館を支える様々な活動の中で、自分向きの「机に向かってコツコツと」に出会った。ようやく、好きなことにどっぷり浸れる場所にたどりついたわけである。

《前事務局次長 森定氏からの退職ご挨拶です》

～お世話になりました～

9月30日に美術館協力会を卒業いたしました。多くの方々との出会いの中で、会員拡充や40周年記念事業など充実した時間を過ごさせていただき感謝申し上げます。会の発展と皆様のご健勝を心から祈念し、お礼とさせていただきます。



編集後記***「お待ちしてました」ポスター配布先で頂いたお声掛け。汚れ・傷みで替え時と。短い会話に近美への好意を感じる一瞬。皆様、御身お大切によいお年を。